



高槻ロータリークラブ

2019~2020

WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階
 TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174
 E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
 例会場 高槻阪急 6 階 多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954 年 6 月 15 日

会長 入谷治夫 幹事 小阪大輔 クラブ運営委員長 内本繁 会報担当副委員長 大木城司

No.43 2020 年 6 月 24 日 発行

6 月はロータリー親睦活動月間

第 3207 回 本日 (6/24) の例会

- ◎ ソング・・・なし
- ◎ 年間出席優秀者表彰
- ◎ 新入会員推薦者表彰
- ◎ 会長・幹事退任挨拶
- ◎ 例会後の行事
新旧クラブアッセンブリー

第 3208 回 次週 (7/1) の例会

2020~2021年度初回例会

- ◎ 新旧会長・幹事バッジ交換
- ◎ 誕生、結婚、入会記念月御祝
- ◎ 創業記念月御祝
- ◎ 井前会長・内本幹事就任挨拶
- ◎ 例会後の行事
7 月度定例理事会

先週 (6/17) の例会から

◎ゲスト 計 2 名

関西大学 博士課程 文化交渉学専攻
 米山奨学生 劉 陽様

指導教官 関西大学外国語学部外国語学科
 教授 奥村 佳代子様

年間出席優秀者表彰

○100%出席

浜田 厚男君	井前 憲司君
入谷 治夫君	石田 佳弘君
伊藤 智秋君	松下 浩章君
西本恵美子君	大木 城司君
浦中 郁文君	内本 繁君

○ホームクラブ・親睦会出席優秀者

坂野 信一君	藤井 敏雄君
藤田 貴子君	橋本 憲治君
飯田 哲久君	片山美智子君
河合 一人君	小阪 大輔君
香西 徳治君	長山 正剛君
並木 寛治君	大角 敏子君
齋藤 良輔君	清水 利男君
篠原 光子君	白石 純一君
山口 誠君	山室 匡史君

◎6/17 出席報告

会員数	出席者数	出席率
50 名	38 名	100 %
前々回例会補正後出席率 100 %		
但し、Mup 0 名 欠席者 0 名		
出席規定適用免除有資格者 3 名		

新入会員推薦者表彰

藤井 敏雄君	橋本 憲治君
飯田 哲久君	入谷 治夫君
片山美智子君	川面 智義君
小阪 大輔君	長山 正剛君
西田 直弘君	清水 利男君
藤松 功治君	

◎会長の時間

みなさんこんにちは。今日は米山奨学生の劉陽さん、指導教官の関西大学の奥村教授にお越し頂いております。本来なら4月の予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で例会が休会中の為本日になりました。詳しくは後ほどご紹介がありますが、先日彼女と会いましたが流暢な日本語で、日本人と間違っただけです。今後月一回の例会に参加してくれそうですので、ぜひ皆さん彼女に親しく接して頂きますようお願い致します。篠原会員が昨年引き続きカウンセラーとして引き受けて頂きます。

さてコロナウイルスの話になりますが、先日のテレビ番組でなぜ日本は欧米にくらべ感染者数や死亡者数が少ないかが話題になりました。人種的な違いか？ウイルスの違いか？それともBCG接種の違いがあるのか？等色々議論がありましたが、コメンテーターによりますと日本人の恥の文化と協調性が影響しているのではとの指摘がありました。どういうことかと言いますと、日本人は万が一ウイルスに自身が感染したり、また他人にうつすようなことがあればそれは恥であり、そのため感染防止に自ら専念するという事です。強制力のない緊急事態宣言でも国民は指示通りに従い協調性があります。ところが欧米人はどうでしょうか？トランプ大統領がマスクしている姿を見たことがありません。ほんとに個人主義の現れですね。

ところで昨日の日本経済新聞の一面の記事を紹介します。タイトルは「進化か退場か迫る覚悟」です。新型コロナウイルスの感染第2波が懸念される中、企業は感染予防という新たな制約が課され、戦う土俵は変わることです。進化か、退場か。危機を乗り切るにはビジネスモデルの転換が欠かせない。適応力、デジタル、耐久力。この3つを備えた企業のみが生き抜けるというものです。スターバックスは米国で400店を閉めるようです。コロナ収束後顧客数がかつての水準に直ちに戻らないと見えています。飲食業においては今後テイクアウトや宅配ビジネスがますます増えるでしょう。また物販業では店頭、対面販売が減りネット販売が主流になるかもしれません。ウォルマートは店頭での販売は減っているが、ネット販売で伸ばしているようです。工場も作業員同士の距離を置くことになり、生産性が落ちます。その分自動化がさらに必要になります。企業は変化への適応力が問われ、この変化に対応できるかがどうかで生き残れるか決まるでしょう。エコノミストによりますと、コロナ前の経済に戻るのに3年はかかると言われてます。会員の皆様の企業におかれましては変化に対応してこの危機を乗り越えて頂きたいと思っております。

◎幹事報告

- ・新旧クラブアッセンブリーを6月24日(水)例会後、例会場にて開催致します。本日例会ポケットにご案内を配布しております。2019-20年度、2020-21年度理事・役員・各委員会の副委員長の皆様はご出席いただきますようお願い致します。
- ・「2020-21年度例会変更・休会のお知らせ」が複数のクラブより届いております。詳しくは事務局へご確認下さい。

◎委員会報告

○クラブ研修委員会

馬淵 晴彦

- ・先月5月は「青少年奉仕月間」、今月6月は「ロータリー親睦活動月間」です。ロータリーの友5・6月合併号の推奨記事として、横書きの記事からP.23「ロータリーアクターに聞きました」をご紹介させていただきます。お時間のある時に、ぜひ読んでいただければと思います。宜しくお願い致します。1年間ロータリーの友誌を担当させていただきましたが、本日が最後となります。本当にありがとうございました。

○米山記念奨学会

篠原 光子

- ・公益財団法人米山梅吉記念館より「全国一人100円募金運動」のご協力依頼が届いております。回覧いたしますので皆様御協力よろしくお願ひいたします。

◎2020学年度米山奨学生ご挨拶

関西大学 博士課程 文化交渉学専攻
劉 陽 (リュウ ヨウ) 様



高槻ロータリークラブの皆様、先生の方々

はじめまして、私は中国出身の劉陽と申します。この度、ロータリー米山奨学生として採用していただき誠にありがとうございます。

私のふるさととは中国東北部における吉林省です。四季ははっきりしているところです。春は乾燥して雨が少なく、夏は暖かくて雨が多いです。秋はさわやかで晴れて、冬は寒くて雪が多いです。1月の平均気温は一番低くて、マイナス20度以下になって、一番暑い7月は高くても30度以下です。夏は涼しいので非常に過ごしやすく、冬は寒くてちょっと辛いですが、室内には「集中暖房システム」があって、暖房の提供が始まれば、寝る時に掛け布団が必要ないくらいに暖かくなって非常に幸せです。

私の家族構成は、会社員の父と、八百屋を営んでいる母、そして私の3人家族です。お金持ちの家ではないですが、両親はずっと力を尽くして経済的な面とメンタル面で支えてくれていて、心から感謝しています。

私の趣味は音楽を聞くことです。歌うのが苦手ですが、ストレスがたまった時によく音楽を聞くことによって解消します。

私は日本に来て六年目になります。子供の頃から、外国のアニメや映画などを見るたびに外国語の持つ不思議さを感じて外国語の勉強に興味を持つようになりました。大学に入って、専攻として日本語の勉強を始めて以来、ますます日本語と日本文化の美しさを感じてきます。おまけに当時日本で留学している先輩から日本の住みやすさと日本人の礼儀正しさを教えてもらって、更に日本へ留学することに憧れを覚えるようになりました。また、日本語の勉強は単なる単語、文法だけではなく、日本の文化や歴史、政治、日本人の考え方も理解しなければならぬと考えております。教科書から学ぶより、実際に日本での生活を体験した方が、本当の日本を知ることができると思いますので、留学を決めました。

本における中国怪異小説『聊斎志異』の翻訳についてです。『聊斎志異』は中国清代に創作されて、中国でも知られるほど有名な小説です。この作品が日本に伝来したのは江戸時代の後期で、明治に入って読者層が広まって、中国文学者をはじめ、国木田独步、尾崎紅葉、芥川龍之介、佐藤春夫、太宰治など、多くの近代文学者に親しまれて、それに対する翻訳、翻案作品がたくさん生み出されました。私は主に『聊斎志異』の翻訳作品を中心に分析して、それぞれの特徴を考察したいです。訳者たちの翻訳観を検討することによって、近代日本における中国文学の翻訳・受容状況、更に中国と日本の文化交流の一端を明らかにすることができると考えております。

日本留学を終えた後、私は帰国して日本語を教える教師になりたいです。教師を目指すのは大学時代からお世話になっている日本人の先生の影響を受けたからです。その先生は合わせて三十人ぐらいの学生を指導して、彼らの日本への留学を達成させました。私もその中の一人で、先生を模範として頑張りたい、日中友好の架け橋となることを目指しています。留学の間に専攻の知識以外に、日本の文化や習慣、日本人との接し方なども積極的に勉強しようと考えております。将来、自分が感じた日本の様子、社会の風景、日本人と接して抱いた感想などを中国の学生に教えて、言語知識をはじめ、日本での日常生活の細かなことまで、学生に伝えられる教師になりたいです。特に自分の留学経験を生かして、日本へ留学したい学生を精一杯応援して、より多くの学生が日本の社会、文化について学ぶことができるように頑張りたいと考えております。

次に私が理解したロータリーの活動について話させていただきます。ロータリーの活動の役割は2点があると思います。第一は、国際間の理解、親善と平和を推進することです。第二は、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献できるロータリアンを育成することです。

またロータリーの活動を通して学びたいことも2点があって、第一は奉仕の心です。私は“Service Above Self”（超我の奉仕）というロータリーのモットーに共感して、いわゆる利己主義を捨てて、常に奉仕の心で社会発展と国際交流に貢献することを目指しています。第二は奉仕する方法です。今までは20年以上に学生として生きてきますので、社会人としてどのように貢献すべきかについて知識も経験も足りません。経験したボランティアも学部生の時に海辺またはキャンパスでのゴミ拾いに過ぎないです。ロータリークラブは現在、地球上からポリオを撲滅する運動や、開発途上国へ技術的な補助や農具、装置、書籍、薬品など緊急物資の提供、国際親善奨学生プログラムなど、多方面にわたって大きな

貢献をしていることを存じており、私もロータリアンの一員として力を出したいです。ロータリークラブは自己啓発、自己修練の場で、奉仕について学ぶ教室だと言われております。私は確かにそうだと考えており、ロータリーの活動を通して視野を広げて、自分ができると、奉仕の方法をより多く見つける、学ぶことができると強く信じております。今後は自分の研究をしっかりとやりながら、クラブの方針に従って積極的に国際交流と奉仕の活動に参加したいです。

最後になりますが、新型コロナウイルスはまだ落ち着いてなくて、大変な日々はまだ続きますが、皆様はくれぐれも体調にはお気をつけてください。以上です。ご清聴ありがとうございます。

◎2020 学年度米山奨学生指導教官ご挨拶

関西大学外国語学部外国語学科
(東アジア文化研究科)
教授 奥村 佳代子様



関西大学外国語学部の奥村佳代子と申します。大学院の東アジア文化研究科で、劉陽さんの指導を担当しております。

劉陽さんの所属する東アジア文化研究科は、10年前に関西大学大学院の研究科としてスタートしました。この研究科では、東アジアの様々な事象が研究対象となりますが、異なる文化がどのように接触し、影響し、受け入れられたのかを考察することを主眼とした、文化交渉学という学問領域を研究する研究科です。

劉陽さんは、『聊斎志異』という17世紀から18世紀にかけて著され、刊行された短編小説集の日本人による複数の翻訳を巡り、日本での受容や継承について解明しようとしています。このテーマを研究するには、東アジア文化研究科が最も適しているという考えから—実は劉さんは修士課程は大阪大学の大学院で学んだのですが—後期博士課程から本学東アジア文化研究科で研究を続けるという決意のもと、入学以来、真摯に研究に取り組んでいます。研究テーマがしっかりとしたものなので、あとは一生懸命、ベストを尽くしてやるだけだという姿勢を非常に感じております。また、素直で謙虚な性格の持ち主であることにも将来性を感じております。

劉陽さんの博士論文は一人で奮闘して書くものではありますが、部屋の中に籠っているだけでは、なかなか論文は書けません。その過程では、必要な資料を見に行ったり、手に入れることも必要ですし、研究発表や議論などの学術交流の場も、大変重要です。ただ、学外の研究会や学会での発表は、学生には少しハードルが高い場合もありますので、東アジア文化研究科では、中国、韓国などの大学と協力して、大学院生のためのフォーラムを年に3回開催しております。そこで

人の発表を聞くこと、また自分の発表を聞いてもらうこと、質疑応答や議論が、論文を前進させるきっかけとなり得ます。学会や研究会への参加にはお金がかかりますが、劉さんが今後さらに研究活動を活発に行う一環として、より一層、資料調査や学会参加を積極的に行うであろうことを、大いに期待しています。

貴重な奨学金をいただいているということを常に忘れず、立派な博士論文を書くことを目標に、指導教員として劉さんとともに努力して参りたいと思っております。



◎ニコニコ箱報告

- ・劉さん、奥村教授お越しいただきありがとうございます。
入谷君
- ・劉陽さん、高槻ロータリークラブへようこそおいで下さいました。1年半どうぞ宜しく御願ひ致します。
篠原君

本日の合計	¥	10,000-
7/1 よりの累計	¥	1,915,000-

◎R 財団への寄付

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	1,281,460-
年次基金会員より	¥	805,000-
年次基金クラブより	¥	33,460-
ポリオプラス会員より	¥	443,000-
一人当たり平均	\$	237.31

◎米山奨学会への寄付

入谷 治夫君 ¥ 5,000- 篠原 光子君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	10,000-
7/1 よりの累計	¥	637,500-
会員より	¥	395,000-
クラブより	¥	242,500-
一人当たり平均	¥	12,750-

◎青少年育成基金への寄付

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	255,000-



◎6/17 卓上花

ニゲラ…………… ひそかな喜び

ヒマワリ…………… あなただけを見つめる